

家族関係に関する申立書 (ハンセン病元患者家族補償金申請用)

※ 事実婚関係の証明には、「事実婚関係に関する申立書」(様式6)を使用してください。

1 当時の関係についての申立

※ 記載例を参考に、(1)、(2)のいずれかの欄を埋めてください。

(1) 親子関係を戸籍により証明できない場合

戸籍上、私 (2) は (1) の

ですが、血縁上は (3) です。

そのため、私は、①の者の③として補償金を請求します。

(2) 親子関係以外の関係(※)を戸籍により証明できない場合

※ 兄弟姉妹同士、祖父母と孫、おじ・おばとめい・おい、曾祖父母とひ孫等

戸籍上、 (1) は私 (2) の

(3) の ですが、

血縁上は です。仮に、①の者と②の者の戸籍上の関係が血縁

上の関係どおりであった場合、私は①の者の (4) です。

そのため、私は、①の者の④として補償金を請求します。

(次ページにお進みください)

2

①の者と②の者について、請求書に記載の関係であることを証明できない理由

(1) ①の者と②の者の関係について（※②の者の生い立ち等も含めて記載してください。）

(2) ①の者と②の者について、血縁上の関係と異なる関係が戸籍に搭載されている理由について

(3) 備考（※補足説明をしたい事項がある場合のみ、記載してください。）

(次ページにお進みください)

3

第三者による証明欄

(※①の者と②の者に③の関係があることに関して公的機関が発行した書類を提出することができない場合のみ)

<証言1>

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。

(1) ①の者と②の者の関係について (※②の者の生い立ち等も含めて記載してください。)

(2) ①の者と②の者について、血縁上の関係と異なる関係が戸籍に搭載されている理由について

(3) 備考 (※補足説明をしたい事項がある場合のみ、記載してください。)

(1) ~ (3) の証言に虚偽はありません。

氏名 _____ ⑨ 住所 _____

※本人自署の場合は押印省略可能

(次ページにお進みください)

<証言2>

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。

- (1) ①の者と②の者の関係について（※②の者の生い立ち等も含めて記載してください。）

- (2) ①の者と②の者について、血縁上の関係と異なる関係が戸籍に搭載されている理由について

- (3) 備考（※補足説明をしたい事項がある場合のみ、記載してください。）

(1)～(3)の証言に虚偽はありません。

氏名 _____ ④ 住所 _____

※本人自署の場合は押印省略可能

厚生労働大臣 殿